

社会資本整備に貢献し魅力ある業界に

●一般社団法人山梨県測量設計業協会

TOPICS

～設立40周年記念式典～

一般社団法人山梨県測量設計業協会(小林日登士会長 会員43社)は、11月9日に富士吉田市のホテル鐘山苑で設立40周年記念式典を開催、山梨県知事をはじめ県選出国會議員ほか多くの来賓

や会員など130余名が参加し盛大に行われた。

本県出身で元NHKエグゼクティブアナウンサー、現在都留文科大学特任教授も努める国井雅比古氏による人との出会い、めぐりあいと発見



式典においてあいさつをする
小林日登士会長

をテーマとした記念講演に加え、協会のこれまでの功績に対し国土交通省土地・建設産業局長、山梨県知事等からの感謝状の授与、業界の発展に尽くした方々に対して協会からの感謝状贈呈も行われた。

同協会は、昭和49年2月に測量業を営む9社による任意組織として発足、昭和52年に会員22社で社団法人として認可を受け、以来、測量業界の社会的・法的責任を果たし地域社会に貢献することを目標に会員の技術向上に努めてきた。特に、会員企業の安全対策に積極的に取り組むことで会員数も増加、平成19年には山梨県との「災害時における調査・設計等の緊急対策業務に関する協定書」を締結するなど、本県の社会資本整備の一翼を担う組織として活動を続けてきた。平成25年4月の一般社団法人化後は、協会として測量業者登録を行い、

共同受注事業にも取り組んでいる。

小林会長は、「40年間蓄積してきた技術と資本を未来に投下し、次世代を担う若手技術者が誇りを持ち魅力ある業界であり続けるよう、会員一丸となって研鑽に努め、経営の安定のために英知を絞っていく。設立時の趣旨を忘れず、測量設計技術の向上により社会資本整備の推進に貢献していきたい。」と将来への抱負を語っている。



これまで出会った各業界の「挑戦者」について語る国井氏